

事業報告書

記入例

事業および目的				事業効果								
<ul style="list-style-type: none"> ・日報自動化システムを導入することで事務量を削減し、事業効率を図る。 ・エコタイヤを導入し、環境負荷の軽減を図る。 ・乗務員確保に向け、就職説明会を開催する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・日報自動化システムを導入し、業務量を〇〇時間削減した。 ・〇車両中〇車両にエコタイヤを導入することにより、〇%燃費が改善された。 ・例年〇回開催していた就職説明会の開催回数を増やし、〇回開催した。 								
事業番号※	事業内容等	契約等の相手方	契約等年月日	着手年月日：注文書、発注書、契約書等、着手が確認できる書類をご準備ください			支払い (科目を記入) 費目は適宜追加してください。					備考
				着手年月日	完了年月日	支払年月日	工事費・委託費等	事務費	購入費	支払金額計	うち補助対象経費	
2	配車システムの導入	〇〇(株)	R6.6.20	R6.6.20	R7.2.1	R7.2.28	2,700,000	300,000	0	3,000,000	2,500,000	
4	エコタイヤの購入	△△(株)	R6.7.10	R6.7.20	R7.1.15	R7.2.15	0	20,000	380,000	400,000	370,000	
3	就職説明会の開催	□□(株) 他	R6.9.10	R6.9.20	R6.12.1	R7.1.15	280,000	20,000	0	300,000	300,000	
合計							2,980,000	340,000	380,000	3,700,000	3,170,000	
うち補助対象経費(A)											3,170,000	
限度額(B) ※路線バス事業者、タクシー事業者、貸切バス事業者は様式第3号より算出											2,800,000	
補助金請求額 (A)×2/3または限度額のいずれか低い額 ※千円未満の端数がある場合は、これを切り捨てた額											2,113,000	

備考

※事業番号(第3条による補助対象事業区分)

1. 車両や乗り場の利用環境改善に関する事業 2. 業務効率化、業務改善に関する事業 3. 人材確保、育成に関する事業 4. 省エネルギー化、低炭素化に関する事業